

子どもが喜ぶ大宮交通公園の実現へ

福山和人は「『こんな京都市をつくりたい』という思いをはぐくんでこられた、皆さんの熱い思いに応えたい」の立場から、市民のみなさんの声を反映させる住民自治をすすめていくことを提案しています。

市民の声に向き合う

福山 和人

弁護士

に期待高まる

昨年末に、京都市は**大宮交通公園の再整備計画**を発表しましたが、その計画には大宮交通公園の一番人気のゴーカートをなくし、ゴーカートに代わる乗り物の提案もないものでした。子ども達からも「ゴーカートをなくさないでほしい」とたくさんの声が寄せられています。



大宮交通公園北東角は塀で覆われ、木々が伐採され、工事が始まっています。

2020年1月9日 №1464

発行 つなぐ京都2020 京都市中京区西ノ京小堀池町2-4 TEL366-3365

つなぐ京都2020は福山和人への期待の声と地域の声を紹介しています

狭い道で、交通量も増えているし、渋滞や事故が心配・・・

住民説明をしっかりと

ゴーカートをなくさないで！

京都市議会の答弁では、「**ゴーカートに代わる乗り物を検討する**」とありました。しかし、計画には、乗り物は自転車しかない提案です。

その根底に「**パークPFI**」という民間企業に丸投げの手法を京都市が取ったことに問題があります。まさに、現市長の「民間ができることは民間に」という方針の下で、市民の声を聴かず、民間にお任せで、京都市自身の公的な責任を放棄しているやり方が、大宮交通公園の再整備に現れました。

しかも、あきれるのは、**ゴーカート**は週3回、数時間程度走るだけの乗り物です。近畿のおすすめガイドにも紹介されています。それをガソリンで走り、環境に悪いとなくす一方で、40台ものガレージが造られます。本気で環境の事を考えているとは思えません。

子どもの喜ぶ声が響きわたり、市民の憩いの場となる公園にするには、今の市政のままでは、実現できないことがはっきりしました。

大切な公園も市民の暮らしも守る市政のために福山和人弁護士に期待の声が広がっています。

